

計画の内容

基本目標 1

生涯健康スポーツ活動の推進

施策目標 1-1 児童・生徒のスポーツ活動の推進

- ① スポーツ教室・講習会の開催
- ② スポーツ大会等の開催
- ③ 中学校部活動等への支援

施策目標 1-2 地域クラブ活動の推進

- ① 運営団体・実施主体の整備
- ② 地域クラブの認証・評価制度の構築
- ③ 指導者の育成・確保
- ④ 財源の確保

施策目標 1-3 成人のスポーツ活動の推進

- ① スポーツ大会や競技会の開催
- ② スポーツ健康教室等の開催
- ③ 運動習慣導入支援の推進
- ④ アーバンスポーツ等の普及

施策目標 1-4 障がい者のスポーツ活動の推進

- ① スポーツイベントの支援
- ② インクルーシブスポーツの普及啓発

施策目標 1-5 高齢者のスポーツ活動の推進

- ① 教室・レクリエーション等の開催
- ② シニアクラブへの支援

施策目標 1-6 スポーツ少年団の育成

- ① スポーツ少年団指導者の育成・確保の支援
- ② スポーツ少年団活動への支援

基本目標 2

スポーツ施設等の整備・充実

施策目標 2-1 スポーツ施設等の整備・充実

- ① スポーツ中核施設の整備・充実
- ② 既存スポーツ施設の改修
- ③ スポーツ施設の効果的な運用

施策目標 2-2 スポーツ活動の場の提供

- ① 学校施設の利用の推進
- ② 身近な施設での場の確保

計画策定にあたって

計画策定の趣旨

本市では、令和2年3月に「第2期神栖市スポーツ振興基本計画」を策定し、「市民ひとり・1スポーツのまち」をキャッチフレーズに「みんなで築く 生涯スポーツ都市かみす」の将来像の実現を目指して、これまで各種施策・事業を推進してきました。本計画は、令和11年度までの10年間を計画期間とし、本年度はその中間年度にあたることから、今回、本計画の見直しを実施するものです。

計画期間中は、世界的な感染症の蔓延を受けて、各種スポーツイベントの多くが中止となる中、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が1年遅れの令和3年に無観客ながらも無事開催され、近隣の茨城県立カシマサッカースタジアムでサッカー競技が実施されるとともに、本市でも神之池や市民体育館においてチュニジア共和国代表チームの事前合宿が実施されました。その後、感染症が落ち着きをみせるにつれて、スポーツに対する機運が以前にも増して高まっています。

また、本市では令和6年9月から、中学校における部活動は原則平日のみとし、休日は新たに創設した地域クラブ等での活動に展開する等、学生や地域のスポーツを取り巻く環境が大きく変化してきています。

本計画の策定にあたっては、このようなスポーツに対する機運の上昇とともに、国のスポーツ基本計画や県のスポーツ推進計画、本市の総合計画や関連計画との整合性を図りながら、市民や市内スポーツ団体の意向も踏まえた上で、誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる豊かなおいのあるスポーツ社会の実現と、スポーツツーリズムの推進により活気のあるまちづくりを目指して「第2期神栖市スポーツ振興基本計画」の見直しを行います。

計画期間

本計画は、令和2年度を初年度とし、令和11年度までの10年間を計画期間とします。また、中間年度に当たる令和6年度に見直しを実施いたします。

【計画の期間】

平成										令和										
22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	
神栖市スポーツ振興基本計画 (平成22年度～平成26年度)					神栖市スポーツ振興基本計画(後期計画) (平成27年度～令和元年度)					第2期神栖市スポーツ振興基本計画 (令和2年度～令和6年度)					第2期神栖市スポーツ振興基本計画 (後期計画) (令和7年度～令和11年度)					

